

令和2年(2020)度 学校経営の概要

甲州市立勝沼中学校

校訓 『真理探求』

1 学校教育目標

「たくましく心豊かで実践力のある生徒の育成」

目指す生徒像

- 自ら学び、真理を探求する
- 美しい心・思いやりの心を持った
- 心身共にたくましい
- ねばり強い意志を持ち最後までやり抜く

考える生徒	(知)
優しい生徒	(情)
元気な生徒	(体)
続ける生徒	(意)

2 学校経営の基本方針 「学舎は常に愉しく」

- (1) 「生きる力」を育む教育課程の編成と実施
生徒や地域の実態に即した特色ある教育課程の編成と実施に努め、「生きる力」を育む。
- (2) 確かな学力を育む指導と評価の実施
授業の工夫・改善に努め、確かな学力を身につける指導と評価を行う。
- (3) 豊かな心の育成を図る生徒指導の充実
集団の一員としてのよりよい生活や人間関係を作り、人間としての自覚を深め、よりよく生きようとする態度を育む。
- (4) 健やかな心と体の育成
自他の生命を尊重する意識を育て、進んで健康で安全な生活を送ることができる実践力を育む。
- (5) 信頼される学校づくりの推進
家庭との連携を深めるとともに地域と一体化した教育活動を推進し、家庭や地域に開かれた、信頼される学校づくりに努める。

3 勝沼中教職員としての信条

- (1) 教育に対する熱意と使命感を持っていること。
・生徒への愛情 ・教育者としての責任感と誇り ・高い倫理観と社会的常識
- (2) 豊かな人間性と思いやりのこころを持っていること。
・温かいこころ、柔軟な発想と思考 ・幅広いコミュニケーション能力
- (3) 生徒の可能性を引き出し、伸ばすことができること。
・生徒一人ひとりの可能性を見抜く力 ・教科の高い指導力 ・自己研鑽力
- (4) 組織人として責任感、協調性を持っていること。
・チャレンジする意欲 ・若手を育てる力 ・学校経営参加への意欲
・学校リニューアルへの意欲

4 学校課題

- (1) さらなる学力向上を図るため、指導の充実に努める。
※市推進「確かな学力育成プロジェクト」との連携 → 「ティーチャーズノート」の活用
- (2) 健康で、不登校を出さない集団づくりと職員体制の充実に努める。
- (3) 地域との連携した教育活動の充実に努める。

5 学校経営の努力点と具体策

- (1) 基礎学力の確かな習得と個に応じた指導の充実に努める。
 - ① 学習規律の徹底と学習集団としての意識の高揚を図る。
 - ② 授業の工夫・改善を図り、基礎・基本の確実な定着を図る。
 - ③ 一人一人の実態に対応したきめ細かな指導を推進する。
 - ④ 課題意識をもち、学習意欲の向上と自ら学ぶ学習態度の育成を図る。
 - ⑤ 特別支援学級、普通学級における特別な支援を必要とする生徒への指導体制の充実に努める。

- (2) 特別活動や集団活動を通して、思いやりの心や集団の一員としての自覚を深め、協力する態度の育成に努める。また、生徒の自主性を高める生徒指導に努めるとともに、教育相談を充実し、生徒の内面の理解、自己実現への援助に努める。
- ①それぞれの集団の中で、一人一人が存在感や連帯感を持ち、互いを尊重しあえる人間関係と思いやりの心の育成を図る。
 - ②特別活動や学校行事、体験活動を通して、集団の一員としての自覚、協力する態度の育成を図る。
 - ③生徒会活動などの自治的・自主的活動を通し、自らが仲間と共に学校生活を向上させようとする心と態度を育てる。
 - ④Q Uの活用とかかわり合っ て学ぶ活動を通して、互いに高め合う学級集団づくりに努める。
 - ⑤SCの活用とともに、教師一人一人のカウンセリングマインドによる援助・指導の充実を図る。
 - ⑥読書活動や芸術文化活動、教育環境の整備等を通して、豊かな情操を育成する。
- (3) 各教科、道徳、特別活動との関連を図るとともに、あらゆる教育活動を通して、キャリア教育の充実に努め、将来を展望する能力や適切な勤労観、職業観を育成する。
- ①福祉体験・職業体験・農業体験等の活動や道徳の時間などを関連させ、「人としてのよりよい生き方」を学ぶ。
 - ②地域のもつ教育力を活用し、地域の歴史・文化・産業・人物からの多くのことを学び、自己の「生き方」を探求する。
 - ③発達段階に応じた職業観の育成を図ると共に適切な進路選択ができるよう進路指導に努める。
 - ④情報教育・福祉教育・環境教育・国際理解教育を積極的に進め、豊かな人間性を育てる。
- (4) 健康や安全に対する態度の育成と教育環境づくりに努める。
- ①「道徳の時間」をはじめあらゆる教育活動を通して「生命」を尊重する指導の充実を図る。
 - ②保健指導や食育指導を充実し、健康で安全な生活習慣の充実を図る。
 - ③交通安全・健康安全・校内安全等の指導を通して、意識の高揚と実践化を図る。
 - ④校舎内外の安全管理・環境美化に努め、安全で心豊かな教育環境の実現を図る。
 - ⑤家庭との連携を図り、「早寝・早起き・朝ごはん」をはじめ、基本的な生活習慣を身につける。
- (5) 保護者や地域社会から信頼される、地域に根ざした教育実践に努める。
- ①保護者との連携を深め、同一歩調での指導を実践する。
 - ②地域社会との連携を大切にし、伝統的な祭典・行事に積極的に参加する。
 - ③危機管理マニュアルの改善と安全管理体制の整備（自然災害・気象災害への対応強化の推進）
 - ④学校評価の実施と改善に努め、学校教育のさらなる充実を図る。

年間計画の概要

	1学期（含む夏休み）	2学期	3学期	年間を通して
主 な 行 事	入学式・始業式 新入生オリエンテーション 家庭訪問 3年生 修学旅行 2年生 校外学習 授業参観 選手権大会 藤切り祭り参加 生徒総会 校内陸上競技大会 東山梨総合体育大会 ジベ処理実習 三者懇談 終業式	始業式 避難訓練 紫薫祭 学校保健委員会 ぶどう祭り参加 東山梨新人体育大会 授業参観 強歩大会 職場体験 芸術鑑賞会 教育相談・進路相談 生徒会役員選挙 三者懇談 生徒総会 終業式	始業式 席書き大会 1年生 スキー教室 2年生 わだつみ平和文庫訪問 授業参観 新入生一日入学 三年生を送る会 高校入試 卒業式 修了式	期末試験（各学期） 職員会議 校内研究 全校集会 愛校作業 （校内美化活動） 朝読書 一斉読書 朝の挨拶活動 「学舎タイム」

校内研修計画

甲州市立勝沼中学校

- 1 研究主題 確かな学力を育む学習指導の在り方
～ユニバーサルデザインの視点を取り入れた学習の工夫～

2 主題設定の理由（学校課題含む）

勝沼中学校の学校経営における基本方針は、甲州市で進める「確かな学力育成プロジェクト」の3つの視点である「授業づくり, 授業改善」「学級づくり, 集団づくり」「保護者, 地域住民等との連携」の中にすべて含まれている。ゆえに、甲州市のプロジェクトをもとに、生徒に確かな学力を保証する集団づくり, 授業づくりを推進し、併せて豊かな心を育む取り組みを実践することで、基本方針の実現へと向かっていくと考えられる。校歌の歌詞の中にある「学舎は常に愉しく」という言葉は、勝沼中のキーワードであり、生徒が学ぶことが愉しくなるように教師集団がひとつのチームとなって授業づくりと学級づくりに主体的に挑戦し励んでいくことを表している。

今年度は、昨年度に加えてキャリアパスポートや教科毎に授業を参観し学び合う取り組みを行って行く。また、テレビ会議システムを活用し、大和中学校と平和学習をテーマにした発表会を企画している。併せて、今年度もユニバーサルデザイン（UD）の視点を取り入れた学習指導についても取り組んでいく。「UDの視点」とは発達障害またはその傾向をもつ生徒への配慮だけでなく、すべての子ども達に対する合理的な配慮を指導の中に取り入れていくことを意味している。例えば、黒板の近くに掲示物を貼らないことやチョークの色を見えやすい白と黄色を主として使用することなどにより、すべての子どもがより授業に集中できる環境を準備することなどがあげられる。UDの一環として授業の構造化にも取り組む。授業のはじめに「目標」、展開や「まとめ」の部分で「ポイント」を掲示し視覚化することを継続していく。他にも基礎・基本の定着のために、スモールステップを意識した授業づくりと単元テストの回数を増やすことによる授業改善を進める。また、火曜日と木曜日の朝読書の時間を朝学習にかえ、5教科の基礎・基本の問題を解かせる時間を設定する。更に、授業規律の均等化に向けた授業評価シートを活用、学びの甲斐善八か条を活用した家庭学習の振り返り、そして班替えや行事後のエンカウンターなど、学級づくりや家庭学習の習慣化にも力を入れていく。

以上の通り、今年度も昨年度から実践していることを継続して行うことに新たな視点を加え、より質的な向上を目指していきたいと考える。そのために、主に理論的なことは市のプロジェクトで学習し、校内研究は実践の場として理論と実践を一体化させながら進めていきたい。市のプロジェクトや校内研究で学んだことをいかし、常に自分自身をアップデートしながら新たなことに積極的に挑戦していきたい。

3 研究の具体的内容と方法

(1) 授業づくり, 授業改善に関わって

- ①ユニバーサルデザインを意識した学習環境づくり（掲示物やチョークの色等）
- ②単元テストの回数増加による指導の改善や「朝学習」「学舎タイム」の設定
- ③NRT検査や全国学力学習状況調査、県学力把握調査の分析及び改善
- ④授業の構造化（目標やポイントの提示）
- ⑤読書活動の充実（朝読書の実施）
- ⑥甲州市「ティーチャーズノート」の活用

(2) 学級づくり, 集団づくりに関わって

- ①授業評価シートを活用し、授業規律の確立
- ②「hyper-QU」の実施とK-13法での分析及び活用
- ③甲州市「ティーチャーズノート」の活用
- ④平和教育の実施（わだつみ平和文庫講演会）
- ⑤キャリアパスポート

(3) 家庭学習の習慣化に関わって

- ①基礎・基本の定着を目指す「学舎タイム」の実施
- ②甲州市「学習の手引き」「家庭教育・子育て」Q&Aの活用
- ③学びの甲斐善八か条の活用

【研究授業の実施】上記の(1)と(2)をふまえ、今年度は理科の研究授業を行う。

※一人一実践を活用した授業参観を計画的に行い、学校の中でお互いに参観し学び合う時間を確保する。

勝沼中学校 校内研究計画

研究主任 天野秀太郎

月	日	曜	内容
4	2	木	第1回校内研究会(研究主題及び研究の柱・年間研究計画等)
	13	月	「キャリアパスポート」説明会(任命式)
	20	月	第1回hyper-QUアンケート実施(4/24日までに実施)
	*NRT・全国学力学習状況調査・県学力把握調査は後日連絡		
5	12	火	「朝学習」スタート
	15	金	授業参観
	18	月	「八のつく日」スタート
	20	水	ブロック交流会①(小学校授業参観)
	27	水	第2回校内研究会(各種テスト・QUの分析方法等・学年別) *学年研究会(QU分析~5月中)
6	17	水	甲州市「確かな学力」育成プロジェクト講演会①
	18	木	八のつく日
	22	月	学舎タイムスタート *期末テスト前(30分間学習)
7	3	金	甲州市「確かな学力」育成プロジェクト講演会②
	8	水	第3回校内研究会(1学期の反省等)
	9	木	大和中交流会①
	10	金	八のつく日
9	30	水	第4回校内研究会(全国学力学習状況調査・学力把握調査の分析結果等)
10	1	木	第2回hyper-QUアンケート実施(10/9までに実施) ※NRTの結果を記入
	8	木	八のつく日
	14	水	甲州市確かな学力育成プロジェクト講演会③
	21	水	第5回校内研究会(指導案検討)
11	2	月	授業参観
	4	水	ブロック交流会②(勝沼中授業)
	9	月	八のつく日
	11	水	第6回校内研究会(研究授業) *廣瀬(理科) 学年研究会(QU分析~11/30)
	16	月	学舎タイム 期末テスト前(30分間学習)
12	4	金	甲州市確かな学力育成プロジェクト講演会④
	8	火	八のつく日 *2学期で最終
	9	水	第7回校内研究会(2学期の反省)
1	15	金	わだつみ平和文庫施設訪問
	20	水	甲州市確かな学力育成プロジェクト講演会⑤
	27	水	第8回校内研究会(還流報告・研究紀要等)
2	1	月	授業参観
	18	木	学舎タイム 期末テスト前(30分間学習)
	24	水	第9回校内研究会(研究紀要等)
	*大和中とポリコムを使った平和に関わる授業を行う(2月中)		

☆甲州市プロジェクト…5回 ☆校内研究…9回(QU分析含む) ☆学舎タイム…3回

◎研究部 1年 堀内翔子 2年 両宮光平 3年 天野秀太郎

研究テーマ	教科領域	担当者・学年	授業予定日	TC要請
学級づくり、授業づくりに関わる授業	理科	廣瀬 直樹	11月11日(木)	あり